日本Rubyの会 第6期の活動について

All About Nihon Ruby-no-Kai: Season 6

角谷 信太郎

日本Rubyの会
(株)永和システムマネジメント
shintaro@kakutani.com

KAKUTANI Shintaro; Nihon Ruby-no-kai; Eiwa System Management,Inc.

関西Ruby会議02 Lightning Talk; 2009-11-07(Sat)

提　供

情報化技術を通じて社会と共生する

株式会社永和システムマネジメント

永和システムマネジメント

✓ 受託開発の会社です

✓ 本社は福井なので関西のお仕事も歓迎です :)

✓ Rubyのお仕事承ります

✓ JRubyでの納品実績もあります

✓ アジャイルな開発のご支援

✓ 認定Scrumマスターが4人います

日本Rubyの会

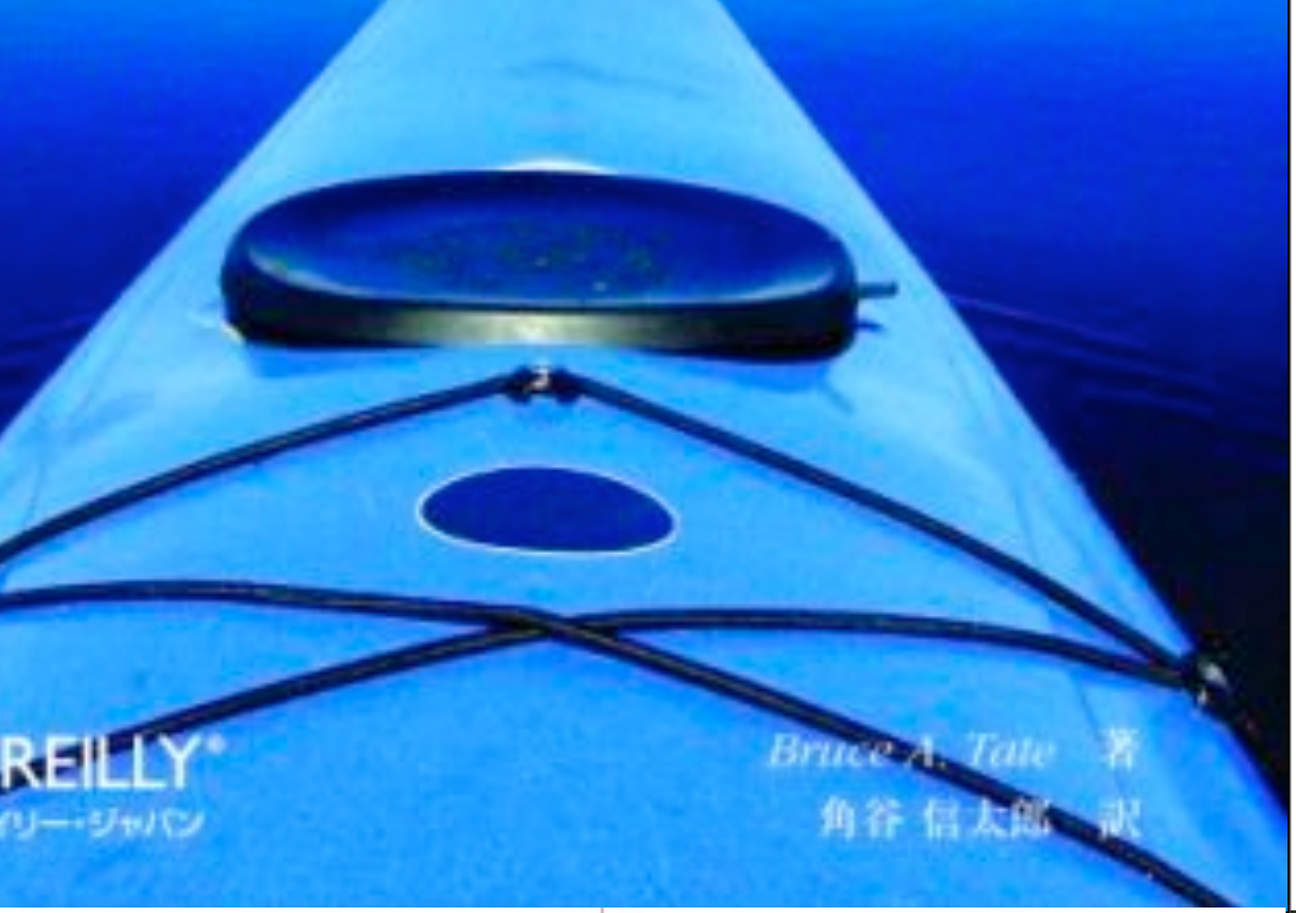
Nihon Ruby-no-kai

http://jp.rubyist.net

角谷信太郎

kakutani.com

KAKUTANI Shintaro



インターフェイス指向設計

アジャイル手法による
オブジェクト指向設計の実践



The Pragmatic Programmers
Practices of an Agile Developer Working in the Real World

アジャイルプラクティス

達人プログラマに学ぶ現場開発者の習慣

Venkat Subramaniam and Andy Hunt 著／角谷信太郎・木下史彦 監訳





Asakusa.rb



http://www.flickr.com/photos/takkanm/3978417669

い

NO-WWW.ORG

RubyKaigi 2009 Tokyo, Japan July 17-19 2009 STAFF

RubyKaigi 2009 Tokyo, Japan July 17-19 2009 SPEAKER

RubyKaigi'08 STAFF

連絡先

shintaro _at_ kakutani.com

過去の日記

検索

Google

前 2009年 11月 次

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■1 関西Ruby会議02で『Rubyでソフトウェアづくりをアジャイルにするということについて』というトークをしました

去年はRubyConfの裏番組だったので参加できなかった関西Ruby会議。今年の関西Ruby会議02でようやく参加することができた。みんな関西弁なので個人的に気安い。

録画もustもなかったのでフリーダムに関西弁でしゃべりすぎたけど反省はしていない。Rubyだからソースを読めばいいとか、ピアソン・エデュケーションの方が見えているのを知らずに「(ピアソンの)翻訳が訳がわからない」とか。okkezさんには水を買ってきてもらいました。ありがとうございました。たいへん助かりました。

トークについては、usaさん(スーツでお見えでした。スーツDAYだから?)に「会社の若い者に聞かせたかった」といってもらえたことが光栄すぎる。例によって背景画像集を置いておきます:

Making Software Development Agile With Ruby



View more documents from Shintaro Kakutani.

- slideshare.net
- kakutani.com(PDF;8.5MB)

皆さんご存知かとは思いますがスライドの銀河はM83、Thousand-Ruby Galaxy(1000のRubyの銀河)ね。

http://kakutani.com/20091106.html#p01

よろしく

お願いします

日本Rubyの会

Nihon Ruby-no-kai

http://jp.rubyist.net



検索

日本Rubyの会について

- トップページ
- 日本Rubyの会とは
- 日本Rubyの会会則
- 日本Rubyの会役員
- 編集ポリシー
- 入会案内
- Rubyistの集い

最新の20件

2009-09-27

- Ruby勉強会@関西
- 第38回 Ruby/Rails勉強会@関西

2009-09-22

- 第37回 Ruby/Rails勉強会@関西

2009-09-17

- SideMenu

2009-09-15

- RubyEventCheck

2009-09-13

- 日本Rubyの会Wiki
- RubyEventCheck2008

2009-08-27

- TODO

2009-08-23

- 第36回 Ruby/Rails勉強会@関西

2009-08-08

日本Rubyの会Wiki

最新情報

- 2009-09-13 Rubyist Magazine 第27号を公開しました。
- 2009-07-17から19まで 日本 Ruby 会議 2009を開催しました。
- 2009-06-30 Rubyist Magazine 第26号を公開しました。
- 2009-02-07 Rubyist Magazine 第25号を公開しました。
- 2008-10-02 Rubyist Magazine 第24号を公開しました。

(過去のニュース)

活動予定

日本Rubyの会について

- 日本Rubyの会とは
- 日本Rubyの会会則
- 日本Rubyの会役員
- 編集ポリシー

- 入会案内（Rubyの会メーリングリストについて）

リソース

- Rubyist Magazine
- Ruby関連ドキュメント
- 日本Rubyの会ロゴ
- TODO
- プレスリリース
- Rubyが使えるサーバー一覧
- Rubyが使えないサーバー一覧
- Ruby活用事例集
- Rubyistの集い

リンク

- Ruby Home Page
- 日本 Ruby 会議
- 地域 Ruby 会議

日本Rubyの会は、
Rubyの利用者の支
援とRuby(+Ruby
のライブラリ)開発者
の支援を目的とした
任意団体です。

量数学

2004

自動

プロジェクト

- ✓ るりま
  - ✓ Rubyリファレンスマニュアル刷新計画
- ✓ るびま
  - ✓ Rubyist Magazine
- ✓ 日本Ruby会議
- ✓ 地域Ruby会議

ReleasedProducts

2009-02-03 10:50:51 +0900 (248d); rev 9

「Rubyリファレンスマニュアル刷新計画」でリリースされたものです。

パッケージ版
　リファレンスのコンパイル済みデータベース、簡易Webサーバ、refe2 が入っています。 (使用方法: ReleasePackageHowTo)

chm版
　リファレンスをchm形式にまとめたものです。

ダウンロード

修正版・スナップショット

- スナップショットリリース (月一回程度)
  - http://doc.okkez.net/archives/
  - http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/
  - 日付が新しいものが最新です。
- Webからの閲覧:
  - http://doc.okkez.net/ (全バージョン一日一回更新)

最新のリリース版「1.9.0」

- パッケージ版(1.8.6/1.9.0):
  - http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.9.0-dynamic.tar.bz2 (2.8M)
  - http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.9.0-dynamic.tar.gz (4.5M)
  - http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.9.0-dynamic.zip (15M)
- chm版:
  - (1.8.6) http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.8.6-chm.zip
  - (1.9.0) http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.9.0-chm.zip

---

Related Pages: FrontPage PublicCommentsDone

http://doc.loveruby.net/wiki/ReleasedProducts.html

rebuild around 01:00 everyday. 62 users

Bitclust

- 1.8.0
- 1.8.1
- 1.8.2
- 1.8.3
- 1.8.4
- 1.8.5
- 1.8.6
- 1.8.7
- 1.8.8
- 1.9.1
- 1.9.2

Static HTML

- 1.8.0
- 1.8.1
- 1.8.2
- 1.8.3
- 1.8.4
- 1.8.5
- 1.8.6
- 1.8.7
- 1.8.8
- 1.9.1
- 1.9.2

Download

- archives

What's this

Ruby リファレンスマニュアル刷新計画 の成果物を簡単に見られるようにしています。 詳細はるりまWikiを参照してください。

Information

このサービスは okkez が個人的に自宅のサーバで提供しているものです。 時々、落ちてたりエラーが出ていたりしますが、そういうものです。 連絡をいただければ、速やかに復旧したいとは思っています。 また、予告無く色々実験し始めることもあります。 更新情報やサーバのメンテナンス情報はブログや Twitter を参照してください。

- http://typo.okkez.net/
- http://twitter.com/okkez
- GPG fingerprint = F05D 1C37 1AD0 76B5 A451 D01D 7F98 8974 DEC7 1A04

このサーバで配布している CHM ファイルは 株式会社 那由多屋 の Yuya さんに作成していただいています。
(okkez が Windows 環境をもっていないため)

Ruby関連の情報が満載
IBM提供の開発者向けお役立ち情報。 使えるサンプルも公開
www.ibm.com

OIAXのRails夜間セミナー
2時間×4回で学ぶ速習コース 東京渋谷、11月17日開講、18:30
www.oiax.co.jp

NTT西日本のデータセンタ
的確なリスク管理で経営を強くする データセンタソリューションをご提供
www.ntt-west.co.jp

Ads by Google

http://doc.okkez.net/

Rubyist Magazine

Rubyist Magazine 0027 号

更新日時:2009/09/16 14:48:50

『るびま』は、Ruby に関する技術記事はもちろんのこと、Rubyist へのインタビューやエッセイ、その他をお届けするウェブ雑誌です。

目次

巻頭言

書いた人：るびま編集長 高橋征義

編集長からの 0027 号発行の挨拶です。(難易度：高)

Ruby の歩き方

Ruby をはじめるにあたって必要な情報をご紹介します。本稿は Rubyist Magazine 常設記事です。(難易度：低)

【五周年記念企画】 Rubyist Magazine へのたより

五周年記念。読者の方々と編集者からコメントをいただきました。（難易度：五周年）

Rubyist Magazine 五周年

書いた人：ささだ

おかげさまで Rubyist Magazine は五周年を迎えました。そこで、Rubyist Magazine の現状と、今後について考えてみました。

VBA より便利で手軽 Excel 操作スクリプト言語「Ruby」へのお誘い (前編)

書いた人：こしばとしあき

VBA の代わりに Ruby を使って Excel を操作することの喜びと便利な使い方を紹介します。2 回の連載予定で、今回は前編です。(難易度：中)

ActiveLdap を使ってみよう（前編）

書いた人：高瀬一彰

LDAP を ActiveRecord 風に扱うことのできるライブラリです。2回の連載予定で、今回は前編です。(難易度：中)

http://jp.rubyist.net/magazine/?0027

Ruby Kaigi

http://rubykaigi.org



http://www.randomfractals.com/Flickorama/Flickc

- ✓ 日本Ruby会議
  - ✓ (The)RubyKaigi
  - ✓ http://rubykaigi.org
- ✓ 地域Ruby会議
  - ✓ Regional RubyKaigi
  - ✓ http://regional.rubykaigi.org

特報

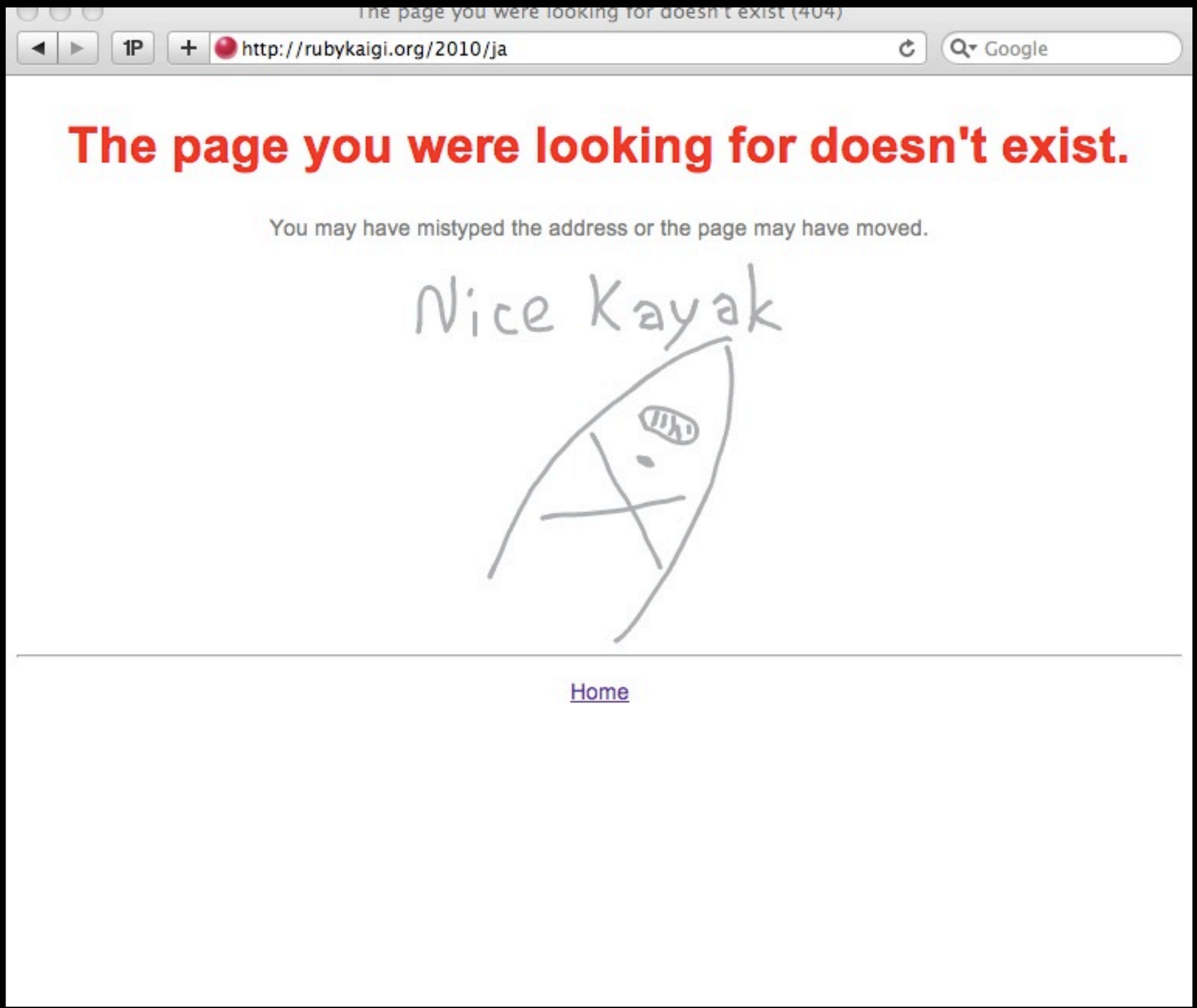
RubyKaigi

2010

Aug 27-29,2010

@Tsukuba, Ibaraki,Japan

http://rubykaigi.org/2010/



体制



高橋征義

http://jibun.atmarkit.co.jp/ljibun01/rensai/leader/27/01.html

鹿鼠



ーパー・
ログラマになる
4の思考法
の
世界
まつもとゆきひ
日経 NIKKEI Linux Linux
まつもとゆきひろ



第5期(08-8～09-7)

✓ 理事: かずひこ

✓ 理事: 角谷信太郎

✓ 理事(会計): 安積伸弥

✓ 理事(会計): 笹田耕一

第6期(09-8～10-7)

✓ 理事: かずひこ

✓ 理事: 角谷信太郎

✓ 理事(会計): 安積伸弥

✓ 理事(会計): 笹田耕一

✓ 理事: 島田浩二 ←[NEW!!]



“RubyやRubyに携わっている人たちから頂いたものを日本Rubyの会という繋がりの中で少しでも多く返していけるよう、精一杯努力していこうと思っています。

島田浩二

http://www.flickr.com/photos/tmaedax/3845208228/

http://blog.stco.info/?eid=875724

“理事を退任しても、日本Rubyの会のウェブサイトやメーリングリスト等のメンテナンスなどをこれまでどおりお手伝いしますので、引き続きみなさんどうぞよろしくお願いします。

かずひこ



http://kazuhiko.tdiary.net/20090727.html#p01



入会案内

入会案内（Rubyの会メーリングリストについて）

日本Rubyの会には、本会の趣旨に賛同する個人ないし法人が、会員として参加することができます。 入会に際して、特に会費などは徴収しておりません。
日本Rubyの会メーリングリストへ登録すれば、その時点で、本会に入会したとみなされます。 **登録の前に、「日本Rubyの会とは」および「日本Rubyの会会則」をよくご確認ください。**

当会は「Rubyの利用者の支援」、「Ruby(+Rubyのライブラリ)開発者の支援」を目的とした任意団体です。支援されたい人ではなく、支援したい人のコミュニティです。これからRubyを使い始めよう、という人はRubyメーリングリストへの参加お勧めします。

なお、このメーリングリストは、会員への連絡や、日本Rubyの会の運営のための議論に使用されます。

日本Rubyの会(およびメーリングリスト)への参加を希望される方は

```
To: ruby@ml.fdiary.net
Cc: maki@rubycolor.org
本文（自己紹介など・そのままメーリングリストに送られます）
```

の要領でメールを送ってください。 このメールがそのままメーリングリストに配信され、同時に参加登録が行われます。

なお、メーリングリストはQuickML で運営しています。また、メーリングリストに流れたメールは、登録希望のメールを含めて、**すべてアーカイブにて公開されます。**ご注意ください。

メーリングリストのアーカイブ：Rubyの会MLアーカイブ

更新日時:2007/07/08 20:24:37
キーワード:
参照:[日本Rubyの会Wiki] [SideMenu]

Ruby入門なら
CTCテクノロジーの教育サービス. 基本文法からプログラム作成まで

Ruby集中講座
スキルアップが出来る集中講座 をナガセWeb/DTPスクールで

Ads by Google

http://jp.rubyist.net/?Admission

Join us now!

実戦

あまり上手く回っていない感

勢いがあるように見えるが

✓人手不足なところが開発以外にもたくさん

✓“いつもの人たち”や、手を動かすべきでない人たちが手を動かしてる

コミュニケーションギャップ

- ✓ 日本語と英語
- ✓ RubyとRails
- ✓ “たのしい”と“勤勉”

空前のピラミッドブーム到来

http://www.flickr.com/photos/khalid-almasoud/1528054134/

コミュニティのありかたについて

RubyKaigi 2009でRails開発者が講演

“Railsという現象”とコミュニティの性質

2009/07/21

登場からわずか5年。Webアプリケーション開発のあり方を根底から変えてしまったと言われるWeb開発フレームワークの「Ruby on Rails」。なぜ5年という短期間で普及し、今なお驚異的スピードで進化を続けているのか。7月17日から3日間の予定で東京で行われたイベント「RubyKaigi 2009」の初日に講演したフリーランスのRails開発者、松田明氏は、自身のRails開発とコミュニティ参加の経験から“Railsという現象”についての考察を披露した。

開発者とユーザーの間にある「超えられない壁」

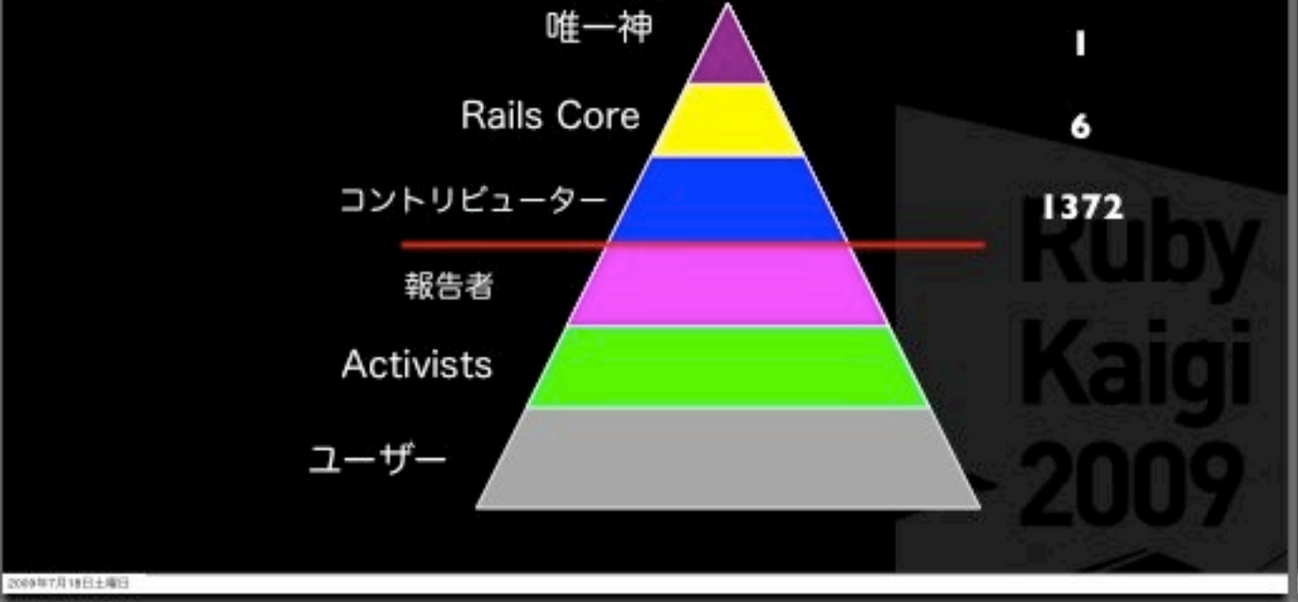


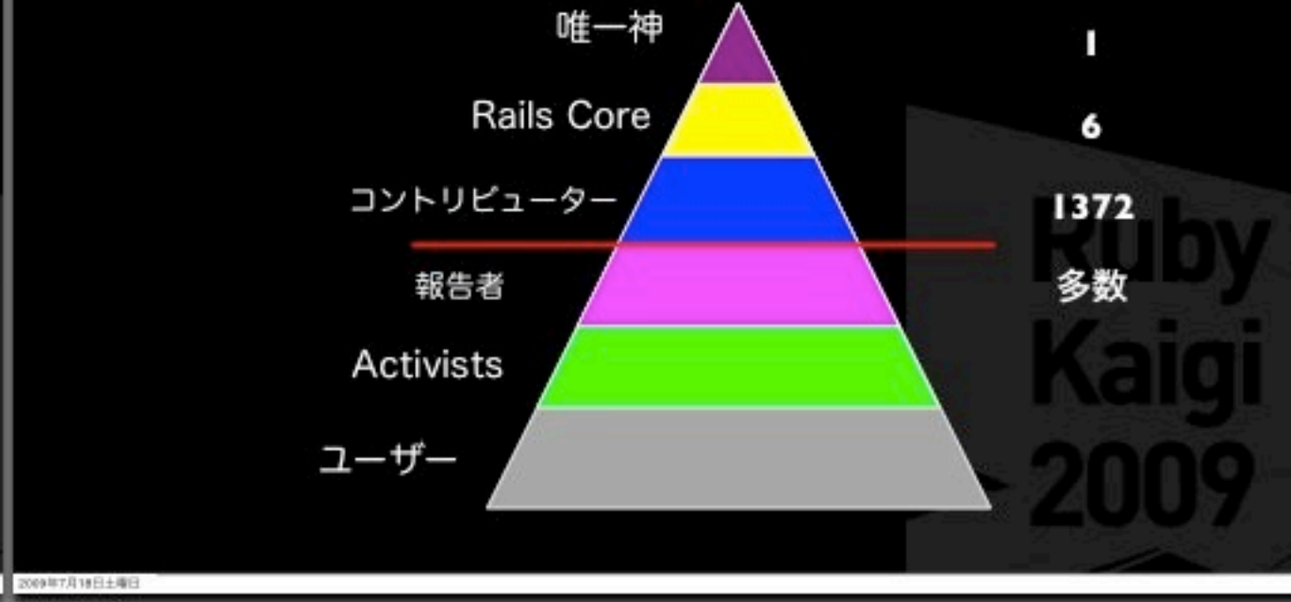
「Railsエコシステムの研究」と題した講演で松田氏が指摘するのは、Rails開発コミュニティの特異性だ。一般的なOSSコミュニティは中心にリーダー的存在と、少数のコア開発者がいて、それ以外の「ユーザー」は、開発者グループに容易に入っていくことができない。

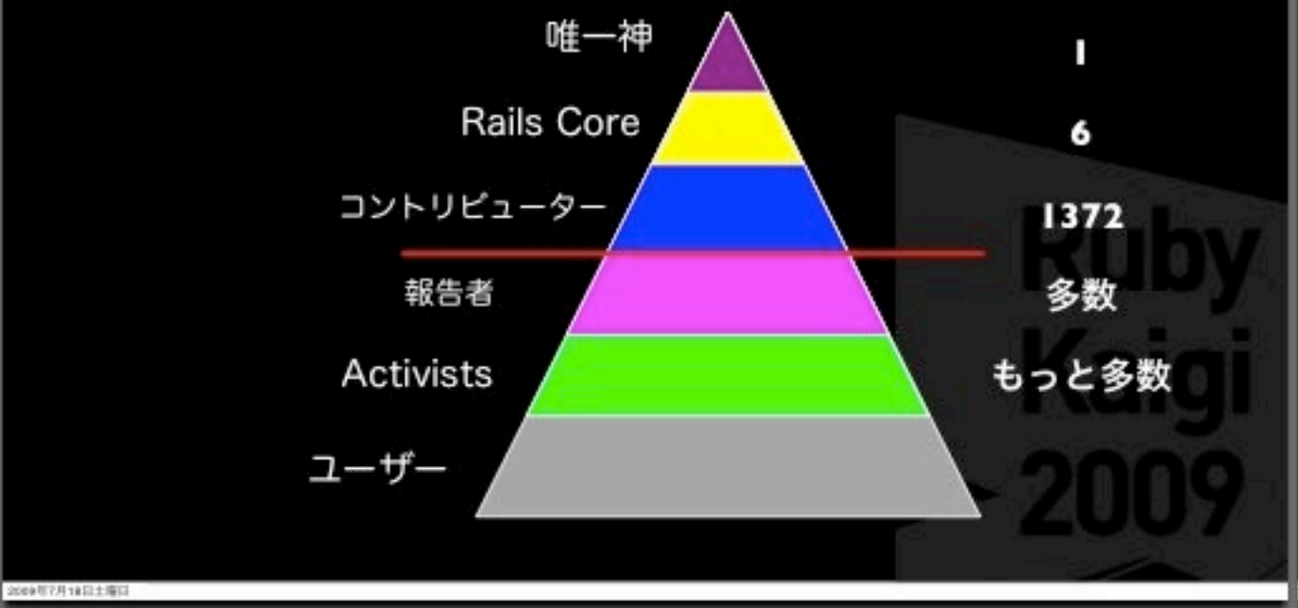
「私はApacheやLinuxのユーザーで利用させてもらっているが、開発者ではない。そこには超えられない壁がある」（松田氏）

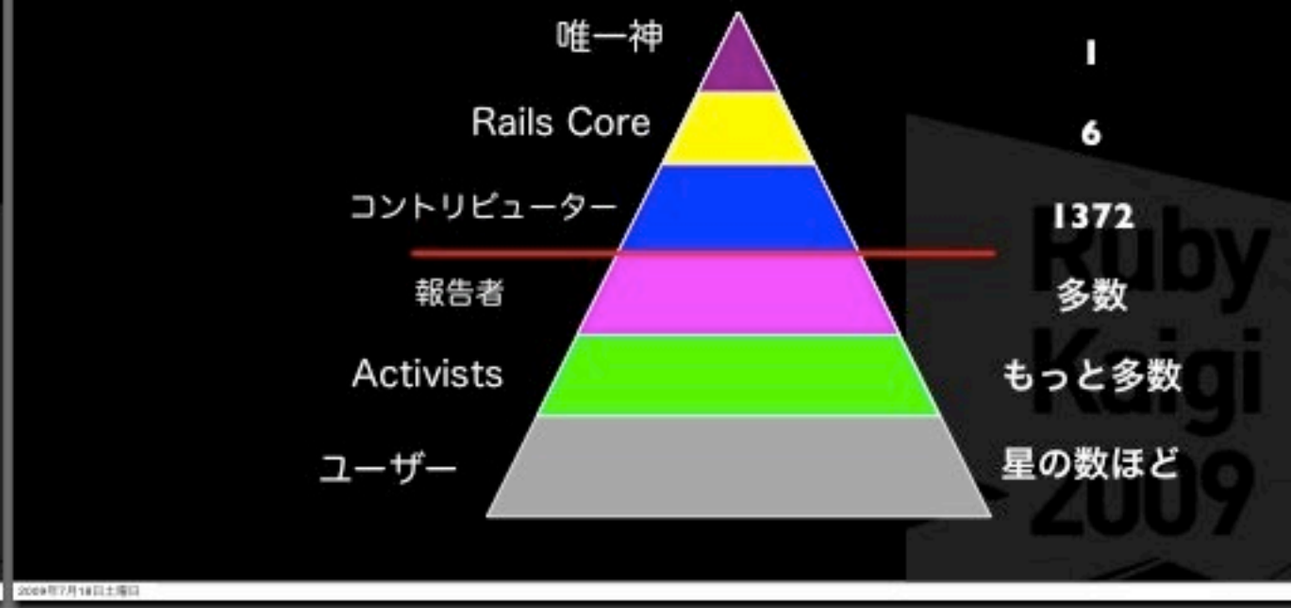
Railsがベースに使う言語処理系のRubyも同

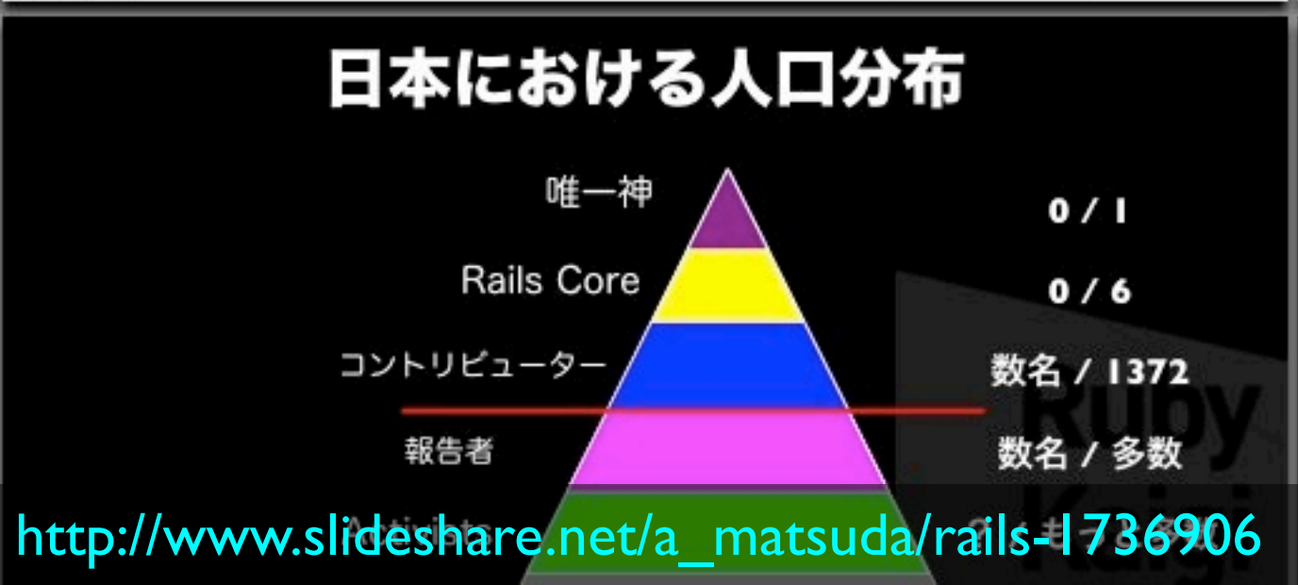
http://www.atmarkit.co.jp/news/200907/21/rails.html













http://www.slideshare.net/a_matsuda/rails-1736906

Aaron Quint



RubyKaigi
2009

@Tokyo, Japan July 17-19 2009

SPEAKER

http://www.quirkey.com/blog/2009/07/31/ruby-kaigi-09-post-mortem/

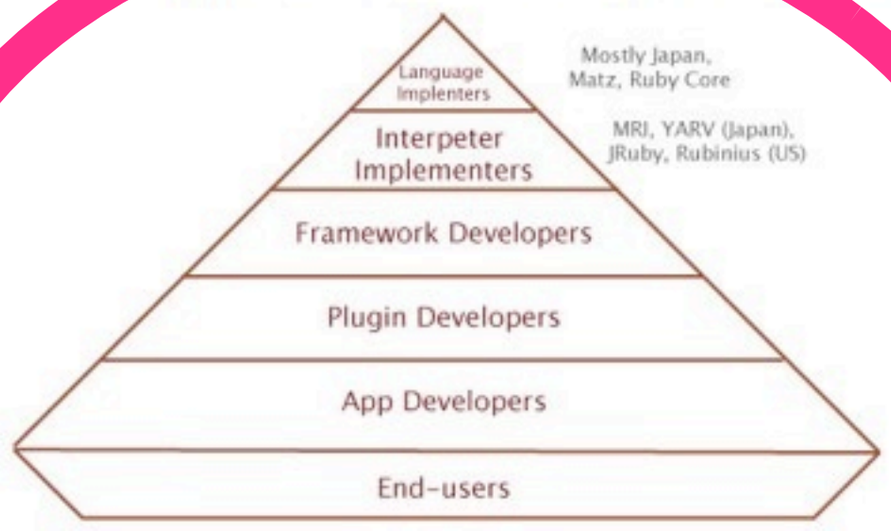
Ruby Kaigi '09: Post-mortem

pportunity to go to Japan and speak about Sinatra and Vegas (slides here). I attended all 3 days of the conference, and though I didn't understand all of the Japanese talks (Leonard Chin did a great job translating the keynotes and some of the other major talks) it gave me a whole new perspective on Ruby and the Ruby community.

The Hierarchy of the Ruby Community

As a Rubyist, I use the Ruby language almost every day. I know most of the stdlib and its methods without thinking. There are certain things I love about it and certain things I hate. Have I ever thought about submitting a patch to the Ruby language? No. There are a couple reasons for this: I don't really know C; Ruby's openness lets me change the stdlib without changing the language itself. Something I hadn't really thought about before, though, is that I'm not a language implementer. In fact, this applies to basically every Rubyist outside of Japan. Rubyists in the US and the rest of the world fit into different parts of the Ruby Hierarchy. Japan, and Ruby Kaigi, however, is the home of language implementers. There's something completely and utterly different about language vs framework vs plugin vs app. The discussions on a language level are on a much higher level. As Matz revealed in his keynote, there are a bunch of language feature branches that he's been just toying with, some that have been sitting there for months. Most of them might never be part of Ruby. Thinking about the implications of a new feature, or a change in Ruby's API, made me realize just how different the thought processes are within the different levels of the community.

When I thought ab… realized that th… retty clear delineations between d… groups within the community. It started to loo… hing like this:



Subscribe via RSS

Also Recent

- ⚡ Sammy 0.3.0 Released: I gotta right to swing! September 30th, 2009
- ⚡ Sammy.js, CouchDB, and the new web architecture September 15th, 2009
- ⚡ jQueryConf 2009 September 14th, 2009
- ⚡ Vegas: Rack it up August 31st, 2009
- ⚡ Rails Rumble: Please Tag Your Photos August 24th, 2009
- ⚡ Ruby Kaigi '09: Post-mortem July 31st, 2009
- ⚡ Headed out: What I've been up to June + Early July '09 July 15th, 2009
- ⚡ Sammy.js hits a new milestone (0.2.0) June 12th, 2009

Search

Search

Conferences



I'm Speaking at Ruby Kaigi '09 in Tokyo Japan



Jeremy Kemper

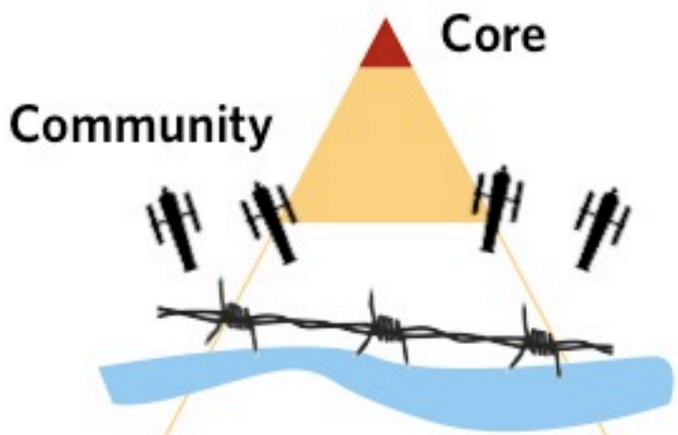
at RubyWorld Conference 2009 in Matz-e, Japan

Community

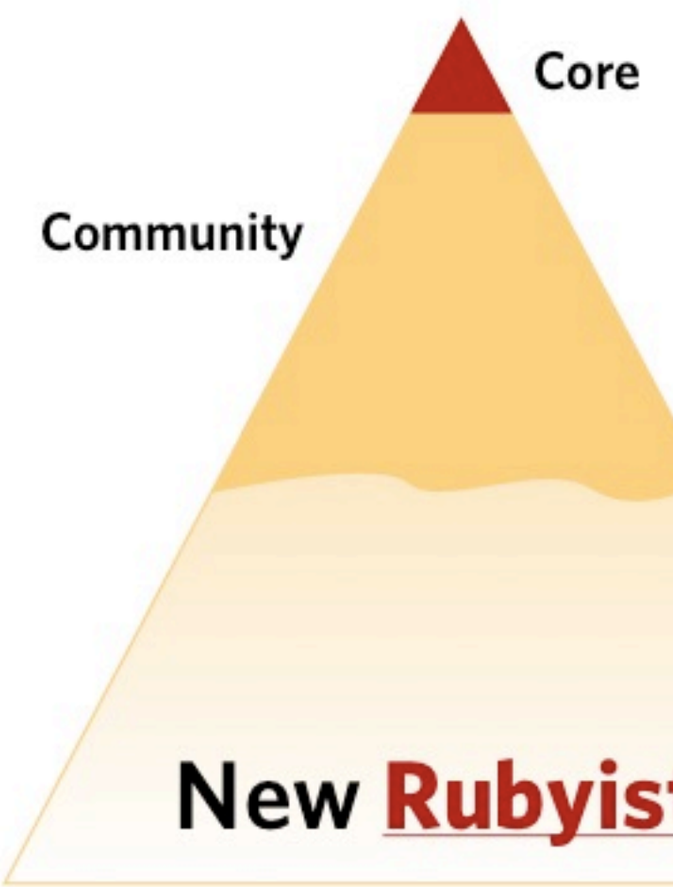
New Rails Users



New Rails Users



New ~~Rails~~ Users



New Rubyists

それぞれが色んなことを考えている

Contribution Pyramid

✓“数”が目的ではない

✓“数”は結果でしかない

✓でも“数”が増えないと

新陳代謝が起きない

日本Rubyの会

Nihon Ruby-no-kai

http://jp.rubyist.net

第6期

方針

✓ コミュニティの新陳代謝と貢献スケールの連続性を支援

✓ 各プロジェクトが独立して動けるように

✓ “いつもの人たち”から仕事を剥がしていく

プロジェクトは継続

- ✓ るりま
  - ✓ Rubyリファレンスマニュアル刷新計画
- ✓ るびま
  - ✓ Rubyist Magazine
- ✓ 日本Ruby会議
- ✓ 地域Ruby会議

そろそろ本気だしたい

- ✓ w.r.o のコンテンツ更新
  - ✓ http://www.ruby-lang.org
- ✓ 情報ギャップ解消の取り組み
  - ✓ 日本語 → 英語, 英語 → 日本語
  - ✓ 新参と古参
- ✓ 各種リソースの状況の整理
  - ✓ 新しい人にもわかるように
  - ✓ 新しいことを始められるように

(今すぐは)やらないこと

- ✓ 法人格の取得
  - ✓ 運営事務に見合うだけの活動実態はほんとにあるの?
  - ✓ Rubyアソシエーションに支援してもらってる
  - ✓ (でも東京に住所は欲しいなあ)
- ✓ 会長の交代
  - ✓ 高橋征義なしに高橋征義的である仕組みづくりを?
  - ✓ あるいは高橋征義が不要な日本Rubyの会?
  - ✓ 日本Rubyの会は会長権限が絶大な非民主的組織です

Rubyistに
できること



検索

0027号 (2009-09)
巻頭言
Ruby の歩き方
るびまへのたより
るびま5周年
Excel操作Scriptへ誘い(前)
ActiveLdap を使おう(前)
DXRuby の紹介
Rubyist にできること
RegionalRubyKaigiKaigi
中国の若きエンジニアの肖像
るびまゴルフ 【第 7 回】
読者プレゼント
RubyNews
RubyEventCheck
編集後記
(上記記事名は短縮形)

バックナンバー
各号目次
分野別目次
0026号 (2009-06)
0025号 (2009-02)
0024号 (2008-10)
0023号 (2008-03)
0022号 (2007-12)
0021号 (2007-09)
0020号 (2007-08)
0019号 (2007-05)
0018号 (2007-02)
0017号 (2006-11)
0016号 (2006-09)
0015号 (2006-07)
RubyKaigi2006特別号
0014号 (2006-05)
0013号 (2006-02)

Rubyist にできること

更新日時:2009/09/13 10:32:43

著者：かずひこ

- はじめに
- 使う
- アップデート
- Ruby 1.9
- コードレビュー
- バグ報告
- 助けを求める
- プロファイルをとってみる
- メモリ使用量をチェック
- パトロール
- ソフトウェアの自由
- おわりに
- 著者について

はじめに

Rubyist のみなさん、こんにちは。 私事ですが、先日 4 年間務めていた日本 Ruby の会理事の職を離れ、晴れて「ただの日本 Ruby の会会員」になりました。 そこで、「ただの日本 Ruby の会会員」というか「ただの Rubyist」にできることって一体何だろう、と考えてみることにしました。

日本 Ruby の会 公式 Wiki - 日本 Ruby の会とはによると、日本 Ruby の会の目的は、

- Ruby の利用者の支援
- Ruby (+Ruby のライブラリ) 開発者の支援

だそうですので、だったら私にもいろいろできることはあるのかなと、この 1 ヶ月間にいろいろやってみたことを紹介したいと思います。

使う

Ruby を使うのは当然として、世の中にたくさんある「Ruby で書かれたフリーソフトウェア」を使ってみましょう。 もちろん、使うだけでなく、フリーソフトウェアならソースを見て勉強できますし、自分好みにカスタマイズしたり、新しい機能を追加したりできますから、「何となく使う」ではなく、「使って使って使い倒す！」勢いが肝心です。

私が使っているフリーの Ruby アプリケーションでは、[illegible] 以来くらい前から使っているブログじゃなくて Web 日記システムの tDiary と、6 年半くらい前から使っている Wiki エンジンの Hiki です。 そして、自分で使うだけでなく、tDiary と Hiki のホスティングサービスを提供することで、さ

http://jp.rubyist.net/magazine/?0027-WhatWeCanDo

これはガチ

Rubyistにできること

✓試す,使う,読む,参加する

✓フィードバック!!!

✓フィードバックをした/しようかなとしている人に“声”をかけてみる

Contacts

- ✓ ruby@ml.fdiary.net
- ✓ Twitter
  - ✓ #rubynokai
  - ✓ IRCNet(!freenode?)
    - ✓ #ruby-no-kai

“Matz is nice, so we’re nice.



We Want

You!

taken from Ichin's slide:
http://www.slideshare.net/l15n/why-you-should-come-to-rubykaigi-2009-presentation